

合同入札監視委員会定例会議 議事概要

1 開催日 平成 26 年 10 月 22 日（水）ほか（※）

※ 当初は 10 月 6 日（月）に開催予定であったが、台風 18 号上陸への対応のため中止し、後日、下記 3 のとおり各委員への回議を行った。

2 場 所 各委員勤務先

3 委員及び回議日

[委員長]

岡田 外司博(大学教授) 10 月 22 日（水）

[委員]（五十音順）

嘉村 孝(弁護士) 10 月 9 日（木）、古関 潤一(大学教授) 10 月 10 日（金）、

中村 豪（大学教授） 10 月 17 日（金）、早川 光敬（大学教授） 10 月 7 日（火）

4 審議対象期間 平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日

5 抽出件数

入 札 方 式			抽 出 件 数
工 事	1	落札率が高い契約	1 件
	2	一者応札・一者応募の契約	1 件
	3	一定の関係を有するものとして情報公開対象法人との契約	該当なし
	4	指名競争入札	1 件（1 件）
	5	入札方式にかかわらない抽出	2 件
業 務 等	6	落札率が高い契約	1 件
	7	一者応札・一者応募の契約	1 件
	8	一定の関係を有するものとして情報公開対象法人との契約	1 件
抽 出 件 数（計）			8 件（1 件）

（注）抽出件数の（ ）書は、事務所の分任契約担当役の発注で内数である。

6 委員からの意見・質問及びそれに対する回答
個別抽出事案の審議内容は別紙のとおり。

以 上

別紙

	意見・質問	回答
1	<p>【塩竈市桂島地区（第1期）・野々島地区災害公営住宅建設工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画競争方式により契約相手を特定したとのことだが、当該業者が他者と比べて評価されたポイントは何か。 地元企業を採点上有利にすると、他の地域からの参入を阻害することにならないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 本件は特別名勝松島の指定区域内であることからデザインの景観への配慮や、離島部での工事であることに配慮した施工方法等です。また、地元市内に本店を置く企業であった点も加味されております。 地元企業の活用は専ら地元公共団体の意向に配慮したのですが、評価点で差を設けているものの、地元以外の者を排除している訳ではありません。現に、本件については、全参加者5者中、県外から過半数の3者の参加がありました。また、僅差で評価点が2位となった者は県外の企業です。
2	<p>【名取市下増田地区災害公営住宅建設工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一者応募の理由は、どのようなことが考えられるか。 設計・施工一括で発注するメリットは何か。 相変わらず入札不調はかなりあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料請求は他に5者あり、参加されなかった理由をヒアリングしたところ、いずれも既受注案件が多く、技術者を配置できないためとのことでした。 その企業の技術や工法等が活かしやすくなるため、品質、工期等で優れたものになることが期待できます。また、個別に発注する場合と比べ、発注手続きが一度で済むことから、全体スケジュールの短縮化が図られます。 被災地以外、首都圏においても依然として不調となるケースはかなりあります。
3	(該当なし)	
4	<p>【【URコミュニティ】H25 館ヶ丘ほか3団地法面樹木伐採等工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> かなりの低入札だが、適正な履行がなされると判断した理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> 低入札価格調査を実施したところ、当該者は手持ち工事がなく、自社作業員や手持ちの作業機械等を活用することで、コスト削減が図れるとのことでした。また、地元の企業であり、過去の受注実績から現地の状況を把握しているため、準備期間の削減が図れるとのこと、過去の受注工事においても良好な成績であったことから、問題な

5-1	<p>【大宮西部地区平成 25 年度公共下水道（その 3）工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募者 6 者のうち、入札までに 2 者が辞退した理由は何か。 ・当該 2 者については指名停止となるのか。 ・最低価格を入札した者が、施工体制確認のためのヒアリングに参加しなかった理由は何か。 	<p>く施工できるものと判断しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両者とも、監理技術者の専任配置が困難になったためと聞いております。 ・入札前の辞退であれば、指名停止とはしておりません。 ・調査基準価格未満であったため、追加の資料作成が必要であることや、落札した場合の専任技術者の追加配置、契約保証金の負担増（請負代金の 1/10 以上→3/10 以上）等が想定されます。
5-2	<p>【東武動物公園駅西口地区平成 26 年度基盤整備工事（枠組関連工事）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土木工事としては比較的低い落札率のようだが、考えられる理由は何か。 ・低入札価格調査の結果は問題なかったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・枠組み協定型一括入札方式のため、全体としては比較的金額の大きな工事であったこと、とはいえ個別では B 等級クラスの工事であるため、参加資格要件を A 等級に加えて B 等級まで拡大したことから、参加者の増加が見込まれたこと等が考えられます。 ・強い受注意欲から企業努力により一般管理費を削減するとのことで、問題なく施工できるものと判断しました。
6	<p>【真田・北金目地区平成 26 年度埋蔵文化財発掘調査委託契約】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約相手の積算額をもって予定価格としているとはいえ、間違いがないか等のチェックは行っているのか。 ・埋蔵文化財発掘調査のため事業スケジュールに影響を及ぼすと思われるが、加えて費用も事業者が負担しなくてはならないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積算基準は県が定めており、それに基づいて契約相手の財団が算定し、県の確認を受けております。当機構としても積算基準に基づいた見積もりであるか等を確認しております。 ・開発者負担の考え方で、全国同様です。
7	<p>【平成 26 年度エキサイトよこはま 2 2 交通施策検討他業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過年度から当該者による一者応札が続いているとのことだが、考えられる理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者から全く関心を持たれていない訳ではなく、公募資料を持ち帰った 2 者に応募されなかった理由を確認したところ、震災復興等他の業務を受注し、人員の確保が困難とのことでした。

8	<p>【流山新市街地地区平成 26 年度再算定・補償説明他業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過年度からの横浜市との協議等の経緯をある程度踏まえる必要がある業務と思われる、段々と参入しにくくなるのでは。 ・もっと競争性が働くよう工夫が必要と思われるが、例えば業務を細分化することで、他者の参入を促せないか。 ・複数年契約とすることはできないか。 ・入札者 13 者は、参加表明者全員か。 ・落札者は一定の関係を有する法人ではあるが、公募した上で、参加希望者全員による競争の結果であるので、特に問題ないというところか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、参加要件の緩和等を重ねておりますが、状況は改善しないことから、そのような面もあると思われます。 ・一定の効果は見込まれるかもしれませんが、一件当たりの金額が低くなるため参入意欲を減退させ、一部が入札不調となることが懸念されます。 ・当機構が横浜市からの委託を受けて発注するものであり、市からの受託が単年度契約のため困難です。 ・本件は簡易公募型競争入札方式に準じた手続によるもので、原則として参加表明書の評価点の高い順から 10 者を入札参加者として選定するものですが、満点 8 者のほか、残りの 5 者が同点であったため、全者選定したものです。 ・そのように考えております。既に多数の競争参加者があることから、これ以上の競争参加資格要件の緩和等も難しいと考えております。
---	---	---

以 上